

## 多いに学び、楽しみました 市民会館で恒例の合同学習会

昨年11月15日(日)、枚方市民会館で枚方中国語を学ぶ会の合同学習会が行われました。

いつもは各班に分かれて学習を進めている会員が一同に会して学習し、またその後に親睦を図る我が会恒例の行事ですが、今年度は30人を超える参加者がありました。

学習会では、まず西川会長が「中国語あれこれ」と題して講演され、「中国語の『さようなら』

### 介绍一下我的班—中級班

## 昨年、有志で重慶へ

枚方中国語を学ぶ会は全体で5クラスありますが、中級班は在籍者が一番多く、昨年4月は20名でスタートしました。

現在は4名が休講中で、通常14～16名の出席者で、女性が2名とちょっとさびしいクラスになっています。

一昨年約10年間教えていただいた、単先生が辞められ、今年度からは褚先生に変わりましたが、質問も活発に行きかい、楽しく中国語を学んでいます。

昨年9月、中級班有志6名と上級Ⅱ班1名計7名で、2泊3日で中国重慶に旅行し、世界遺産武陵天坑三橋の壮大さに全員感激し、楽しい旅行を終えました。

は『再見』で、また会おうという意味だが、恋人たちが別れるときには何というんだろう」など、身近な例を挙げて中国語の奥深さについて話されました。

続いて、日頃お世話になっている老師から、「異文化コミュニケーションについて」(入門班・高老師)、「中国と日本の習慣の違い」(中級班・褚老師)と題した講演があり、お二人の日本に来て体験されたことを基にしたお話に参加者は引き込まれました。

その後、親睦会に移り、井野さん(上級Ⅱ班)の発声で乾杯。参加者は班の枠を超えて歓談、話しが弾みました。また、出し物とし



【写真上】西川会長の講演を聴く参加者。【写真右下】講演する高老師。  
【写真左下】講演する褚老師。

て「中国茶藝披露」(初級班)、「合唱(もみじ)」中級班、「三つの漢字で言葉を作ろう」(上級Ⅰ班)、「中国語コント」(上級Ⅱ班)があり、会場は大いに沸きました。

最後は今西事務局長の音頭で一本締め。楽しいひとときを過ごしました。

## 西川会長の中国語余話

今回は、否定詞の「不」・「没(有)」について考えましょう。

まず、この2つは、動詞・形容詞の前に置かれて否定を表す「副詞」であると理解しなければなりません。

「不」は、副詞として、あらゆる動詞・形容詞の前に置かれて、否定を表します。

一方、ややこしいのが、「没(有)」です。

①まず、動詞「有」の否定は、「没有」ですから、「没」=副詞、「有」=動詞ということになります。

次に、

②動詞+「了」を否定する場合は、「来了。→没(有)来。」ですね。ならば、①とは異なり、「没」も「没有」も両方とも「副詞」になります。

さらに厄介なことに、③「没有什么」・「没什么」と両方いいますから、「没有什么」の「没」は当然①副詞です。でも、「没什么」の「没」は、副詞ではおかしくなるので、この「没」は動詞になります。

まだまだあるんですけど、ますますわからなくなるのでここまでにします。

ほんとに難しですね。